

I. 概況

当財団は、賛助会員会費及び日本財団からの助成金等を原資として公益目的事業に取り組んでいる。

令和5年度の「調査研究事業」では、大学等の研究成果等を九州圏内の交通運輸・観光事業の発展及び地域社会の活性化に寄与することを目的として「懸賞論文」を実施し、2大学から2編の応募があり奨励賞1編を決定した。

また、福岡県北部（北九州市）から福岡県西部（糸島市）の国庫補助航路を対象に、複数の地方自治体が共通予備船を保有・維持管理を行っていくために必要となる当該地域の航路状況、共通予備船の具体的な保有方法や保管場所、共通船型等について、調査・検討を行い、その結果を報告書として取りまとめた。

「施設整備事業」では、離島住民の生活の安定と福祉の向上に資するため、冷凍コンテナ13個、保冷コンテナ2個、簡易待合所1基、バリアフリー対応型タラップ2基を製作し、旅客定期航路事業者に管理委託した。また、令和4年度からの継続事業となっていた下関市の浮棧橋整備については、令和6年3月22日完了検査を実施した（同年4月17日、助成金の支払いを行い、当該施設整備に係る全ての手続きが終了）。

「広報啓発等事業」では、機関誌を7月及び12月の2回発行した。講演会等の開催では、新春講演会1回、海事振興セミナー2回、企業経営基盤強化等セミナー3回の計6回を開催し、約1025名（オンラインを含む）の参加があった。次世代の海事産業を担うことになる小中学生等への啓発活動の海事施設見学では、2校42名、就業体験では2校12名の参加、また、バリアフリー啓発促進では52名の参加を得て実施した。

II. 事業の実施状況

1. 調査研究事業

事業名	事業実施状況等
懸賞論文の募集	<p>大学等における交通経済に関する研究を促進するとともに、その研究成果を交通運輸産業に活かすことにより、九州圏内の交通運輸観光事業の発展及び地域社会の活性化に寄与することを目的として、令和5年5月11日～10月31日の間、懸賞論文を募集したところ、2大学から2編の応募があり、審査委員会（2023年12月19日開催）において審査の結果、以下のとおり奨励賞1編を決定した。</p> <p>※今年度は最優秀賞及び優秀賞に該当する論文なし。</p> <ul style="list-style-type: none">○テーマ：地域DMOにおける独自KPIの設定状況と自治体のKGIの関係性に関する考察○受賞者：小松原早貴 (東京大学大学院工学系研究科) <p>賞状・副賞は、令和6年1月10日(水)に受賞者あて郵送。また、受賞論文は、要旨を当センターホームページに掲載するとともに、令和6年7月発行予定の機関誌九州うんゆジャーナル2024年夏号においても要旨を掲載予定。</p>
離島航路共通予備船の導入効果等に関する調査研究	<p>離島航路は島民にとって欠かすことのできない生活基盤である。当該船舶が毎年検査を受けるためドック入りする際には、複数隻使用している他航路の就航船舶を用船すること等により当該住民の移動手段の確保と生活物資の安定輸送を行い、島民生活の維持・安定を図っている。しかし、複数隻所有の事業者は極めて少なく、景気の動向や社会情勢の影響を受けやすいこと等から、用船確保は年々困難な状況。そのため北部九州のうち、福岡県北部(北九州市)から福岡県西部(糸島市)の国庫補助航路を対象に、自治体が共通予備船を保有・維持管理を行っていくために必要となる航路状況や具体的な保有方法、保有場所、共通船型等について、「離島航路における共通予備船の導入効果等に関する調査委員会」で審議・検討を行い、関係者意識の醸成と導入への道筋を立てるとともに、調査結果を報告書として取りまとめた。</p>
海運振興関連施設利用調査	<p>離島では台風等の影響で毎年、長期欠航が起こることによる食料不安、生活不安を解消することが長年の課題になっており、課題解決の第一歩として、令和4年度において、停電時にも対応できる自家発電機を搭載した冷凍冷蔵コンテナを製作したところ。今年度においては、当該コンテナを導入した事業者等から利用方策等について、情報収集、整理・分析を行い、利用促進や航路事業者ほか自治体関係者が導入に向けた検討を行う際の基礎</p>

事業名	事業実施状況等
海運振興関連施設利用調査	資料として、他の海運関連施設も含めたリーフレットを作成した。
海運事業者の事業継続実態調査	生活物資の運搬や人の移動を担う海運産業は、離島を多く抱える九州地域では特に重要な役割を担っているが、労働力不足や後継者不足が大きな課題となっていることから、事業継承に関する現状や課題を把握するため、旅客航路及び内航海運事業者（約480者：九州旅客船協会連合会、九州地方海運組合、内タン西部支部傘下の会員事業者）を対象にアンケート調査を実施。アンケート調査結果については、概要を取りまとめ、海運事業者団体及び九州運輸局あて情報提供を行った。

2. 施設整備事業

事業名	事業実施状況等
九州圏における海運振興関連施設整備 (日本財団助成事業)	<p>(1) 離島住民の民生の安定と福祉の向上に資するため、冷凍コンテナ、保冷コンテナ等を製作して旅客定期航路事業者に管理委託した。</p> <p>① 冷凍コンテナ 13 個</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マルエーフェリー(株) (鹿児島～奄美～那覇航路) <ul style="list-style-type: none"> L6058×W2438×H2591 mm 2 個 L3658×W2438×H2591 mm 1 個 ・ マリックスライン(株) (鹿児島～奄美～那覇航路) <ul style="list-style-type: none"> L6058×W2438×H2591 mm 2 個 L3658×W2438×H2591 mm 1 個 ・ 奄美海運(株) (鹿児島～喜界～知名航路) <ul style="list-style-type: none"> L3658×W2438×H2591 mm 2 個 ・ 岩崎産業(株) (鹿児島～西之表～宮之浦航路) <ul style="list-style-type: none"> L3658×W2438×H2591 mm 1 個 ・ 十島村 (鹿児島～十島～名瀬航路) <ul style="list-style-type: none"> L2438×W2991×H2438 mm 2 個 ・ 野母商船(株) (福江～青方～博多航路) <ul style="list-style-type: none"> L2550×W1800×H2438 mm 2 個 <p>② 保冷コンテナ 2 個</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三島村 (鹿児島～三島～枕崎航路) <ul style="list-style-type: none"> L1680×W2125×H2100 mm 2 個 <p>(2) 離島住民の福祉の向上のため、風雨防止用通路シェルター、簡易待合所、バリアフリー対応型タラップ等を製作し、離島航路の岸壁に整備し、旅客定期航路事業者に管理委託した。</p>

事業名	事業実施状況等
九州圏における海運振興関連施設整備 (日本財団助成事業)	<p>①簡易待合所 1基 ・瀬戸内町(古仁屋漁港) L2500×W3000×H2600mm 1基</p> <p>②バリアフリー対応型タラップ 2基 ・九州郵船(株)(芦辺港) L6125×W1500×H2400mm 1基 ・九州郵船(株)(厳原港) L6125×W1500×H2400mm 1基</p> <p>③浮棧橋 1基(製作中・事業継続) ・下関市(竹崎～六連航路/竹崎岸壁設置) L17000×W8000×H2700mm 1基</p>

3. 広報啓発等事業

事業名	事業実施状況等
(1)機関誌「九州うんゆジャーナル」の発行	<p>賛助会員その他関係者への情報提供・サービス向上を図るため九州うんゆジャーナルを発行、配布した。</p> <p>2023 夏号 VoL. 124 2023年 7月 10日 発行 1,000部 2023 冬号 VoL. 125 2023年 12月 10日 発行 1,000部</p>
(2)各種講演会・セミナー等の開催	<p>①講演会の開催 福岡県トラック協会と共催して交通運輸及び観光の振興と近代化に関する講演会を開催した。</p> <p>【令和6年新春講演会】</p> <p>開催日：2024年2月1日(木) 13:30～15:30 場 所：福岡市 オリエンタルホテル福岡 博多ステーション 3階「YAMAKASA」 参加者：150名</p> <p><第一部>テーマ：九州・沖縄の経済情勢 講 師：日本銀行 福岡支店 支店長 大山 慎介 氏</p> <p><第二部>テーマ：我が国の物流の革新に向けた取組みの動向 講 師：国土交通省物流・自動車局貨物流通事業 課トラック事業適正化対策室長 斎藤 永能 氏</p>

事業名	事業実施状況等
(2) 各種講演会・セミナー等の開催	<p>②九州運輸コロキアムの開催</p> <p>講師を招き交通運輸・観光全般について情報提供を行い、テーマに沿って参加者が自由、活発に討議、対話を行う場として九州運輸局交通政策部環境・物流課と連携して環境関連の話題をテーマに開催すべく準備を進めていたが、諸事情により開催できなかった。</p>
	<p>③海事振興セミナー</p> <p>海事振興を目的として、特に海事に関する最新の情報提供や課題解決等のためのセミナーを開催した。</p> <p>【第24回海事振興セミナー】</p> <p>※九州クルーズ振興協議会との共催 開催日：2023年7月25日（火） 14:20～16:00 場 所：福岡合同庁舎新館7階 九州運輸局海技試験場 参加者：61名</p> <p><基調講演> 講 師：中村学園大学流通科学部流通学科 准教授 前嶋 了二 氏 テーマ：新気候体制下のクルーズ観光と観光戦略</p> <p><パネルディスカッション> テーマ：持続可能で地域活性化につながるクルーズ船の受け入れとは コーディネイター： 大阪大学大学院国際公共政策研究科長 教授 赤井 伸郎 氏</p> <p>パネリスト： 中村学園大学流通科学部流通科学科 准教授 前嶋 了二 氏 福岡市観光コンベンション部 クルーズ課長 富永 誠治 氏 長崎県クルーズ振興協議会 事務局長 太田 勝也 氏 （長崎県国際観光振興室インバウンド・クルーズ班課長補佐） 鹿児島県観光・文化スポーツ部 PR 観光課 参事 長友 洋子 氏</p>

事業名	事業実施状況等
(2) 各種講演会・セミナー等の開催	<p>【第 25 回海事振興セミナー】 開催日：2023 年 11 月 10 日（金） 13:30～15:30 場 所：リファレンス駅東ビル 2 階 T 会場 参加者：69 名 <講演> 講 師：一般社団法人内航ミライ研究会 代表理事 浦山 秀大 氏 専務理事 曾我部 公太 氏 テーマ：内航海運業界のミライを考える 講 師：一般社団法人海洋共育センター 専務理事 村中 克範 氏 テーマ：一般社団法人海洋共育センターの活動について</p>
	<p>④企業経営基盤強化等セミナーの開催 関係業界団体と連携し、企業の経営基盤の強化等につながる最新の情報等を提供するため、情報セキュリティや物流 2024 年問題、モーダルシフトをテーマ・内容とするセミナーを関係団体等と連携の上、開催した。</p> <p>【情報セキュリティセミナー】 開催日：令和 5 年 4 月 26 日（水）13:30 ～ 15:00 場 所：オリエンタルホテル福岡 博多ステーション 2 階 福岡市博多区博多駅中央街 4-23 参加者：51 名（オンライン含む） テーマ：サイバーセキュリティの実情と今やるべきこと 講 師：株式会社 BCC クラウドサービス事業本部 クラウド営業部 部長 奥 新一郎 氏</p> <p>【物流 2024 年問題関連セミナー】 ※JILS ほかと連携 開催日：2023 年 9 月 7 日（木） 12:50～16:00 場 所：TKP ガーデンシティ博多新幹線ロプレミアムホール 参加者：564 名（会場 80 名、オンライン 484 名） テーマ：物流 2024 年問題研究会 in KYUSHU ～差し迫る 2024 年、今やるべきことは～ <講演> テーマ：「物流 2024 年問題への対応に向けて」 講 師：(株)湯浅コンサルティング コンサルタント 芝田 稔子 氏</p>

事業名	事業実施状況等
(2) 各種講演会・セミナー等の開催	<p><企業事例①> テーマ：「2024年問題に向けたTOTOの取り組み」 講師：TOTO(株)物流本部物流推進部部長 河村 孝史 氏</p> <p><企業事例②> テーマ：小売事業者としての2024年問題対応 講師：イオン九州(株)取締役 常務執行役員 管理本部長 赤木 正彦 氏</p> <p><行政①> テーマ：経済産業省における物流の2024年問題等に向けた対応について 講師：九州経済産業局産業部 流通・サービス推進課長 田代 信二 氏</p> <p><行政②> テーマ：トラック運送事業に関する九州運輸局の取組について 講師：九州運輸局自動車交通部貨物課長 東 祐樹 氏</p> <p>【海上モーダルシフト利用促進セミナー】 ※九州運輸局、九州長距離フェリー協議会、九州トラック協会と連携</p> <p>開催日：2023年11月15日(水) 13:30～16:30 場所：オリエンタルホテル福岡 博多ステーション3階 参加者：約150名</p> <p>プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年問題の概要と九州運輸局の取組(九州運輸局) ・海上輸送の紹介(港湾管理者ほか) ・鉄道コンテナ輸送の紹介(JR貨物)
(3) 次世代の海事産業を担うことになる小中学生等への啓発活動(海の子育成)	<p>次世代社会を担うこととなる小・中学生等を対象に、海事産業現場の見学会を実施することなどにより、海事産業の重要性等の認識や理解促進を図った。</p> <p>【海事施設見学会】</p> <p>○実施日：2023年8月8日(月) 9:30～12:30 参加者：佐世保市立小学校教育研究会 社会研究部 教員23名</p> <p>内 容：佐世保港内をクルージングし、西海沿岸商船(株)の使用船舶にて海上から海事産業施設を見学、西九州倉庫(株)の定温倉庫、サイロ倉庫を見学</p>

事業名	事業実施状況等
<p>(3) 次世代の海事産業を担うことになる小中学生等への啓発活動（海の子育成）</p>	<p>○実施日：2023年8月21日（月）8:20～12:20 参加者：佐世保市立中学校教育研究会社会研究部 教員 19名 内 容：佐世保造船所見学、西海沿岸商船株の使用船舶にて佐世保港内をクルージングし、海上から海事産業施設を見学、西九州倉庫株の定温倉庫、サイロ倉庫を見学</p> <p>【就業体験】 ○実施日：2023年7月24日～8月10日（2日間～5日間） 参加者：鹿児島県立鹿児島水産高等学校 海洋科3年生 甲板7名、機関2名、合計9名 乗船受け入れ事業者：6社 鹿児島荷役海陸運輸株、甕島商船株、十島村、マリックスライン株、マルエーフェリー株、三島村</p> <p>○実施日：2024年2月7日～2月9日（3日間） 参加者：宮崎県立宮崎海洋高等学校2年生： 海洋科学科3名 乗船受け入れ事業者：株商船三井さんふらわあ</p> <p>【輝け！フネージョ in 九州（第2弾）】 ※九州海事産業次世代人材育成推進協議会と連携した取組み 令和4年度において、九州の海事産業の現場で働く女性の姿や声を盛り込んだ動画「輝け！フネージョ in 九州」を作成し、当センターのホームページにもアップし、各事業者が行っている取り組みや工夫を広く発信しているところ。令和5年度においては、旅客船、港湾運送、船用工業、倉庫業などで働くフネージョの動画（10～15分程度）を1本ずつ作成するとともに、それを集約したダイジェスト版を作成し、海事産業の職場の魅力を発信した。</p>
<p>(4) バリアフリー啓発促進</p>	<p>旅客航路事業に従事する船員及び運航担当者等が、高齢者・障害者等の疑似・介助体験を通じてバリアフリーについての理解を深めるとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、国民一人ひとりが高齢者・障害者等に対し自然に快く手助けできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指すことを目的に実施した。</p> <p>【令和5年度バリアフリー講習会 in 別府国際観光港】 開催日：2023年12月1日（金）9:30～12:30 場 所：別府国際観光港「さんふらわあターミナル」及び「さんふらあむらさき」船内 実 技：ターミナル、船内 ・車椅子疑似体験及びサポート体験</p>

事業名	事業実施状況等
(4) バリアフリー啓発促進	<p>座 学：さんふらわあターミナル テーマ：旅客事業者に求められること 講師：①(公財)交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部 高橋 徹 氏 ②NPO 法人自立支援センターおおいた 理事長 後藤 秀和 氏</p> <p>参加者：旅客航路事業に従事する船員及び運航担当者 30 名</p> <p>【令和 5 年度バリアフリー講習会 in 宮崎港】 開催日：2023 年 12 月 6 日（金） 9：30～12：30 場 所：「宮崎港フェリーターミナル」及び 「フェリーたかちほ」船内</p> <p>実 技：ターミナル、船内 ・車椅子疑似体験及びサポート体験</p> <p>座 学：フェリーたかちほ テーマ：旅客事業者に求められること 講師：①(公財)交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部 高橋 徹 氏 ②NPO 法人障害者自立応援センター YAH! DO みやざき 理事 永山 昌彦 氏</p> <p>参加者：旅客航路事業に従事する船員及び運航担当者 22 名</p>
(5) 九州の交通・運輸に関する統計の整備	九州圏における交通、運輸に関する統計資料を当センターホームページ上で公開した。(監修：九州運輸局)

Ⅲ. 総務関係事項

1. 評議員会・理事会の開催状況

(1) 評議員会

① 令和5年度定時評議員会 令和5年6月27日

開催場所 ホテル日航福岡 新館 2階 ラメール

決議事項 評議員の選任について

理事の選任について

令和4年度事業報告及び決算報告について

常勤役員報酬規程の一部改正について

参与の委嘱について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況

出席等 決議に必要な出席評議員の数6名、出席7名、欠席4名、
出席理事3名、監事1名

② 令和5年度第2回評議員会 令和6年3月14日

開催場所 ホテル日航福岡 4階 ローブルーム

決議事項 令和6年度事業計画及び収支予算について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況

出席等 決議に必要な出席評議員の数6名、出席8名、欠席3名、
出席理事4名、監事1名

(2) 理事会

① 令和5年度みなし理事会 令和5年5月26日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 令和4年度事業報告及び決算報告について

評議員会招集について

出席等 提案書に対し、理事11名全員の書面による同意の意思表示及び監事1名
全員から書面により意義がないことの意味表示を得た日をもって、理事
会の決議があったものとみなされた。

② 令和5年度第1回通常理事会 令和5年6月27日

開催場所 ホテル日航福岡 新館 2階 ラメール

決議事項 理事長、専務理事の選任について
常勤役員報酬規程等の一部改正について
参与の委嘱について

報告事項 令和4年度事業報告及び決算報告について
業務執行理事の職務執行状況

出席等 決議に必要な出席理事の数6名、出席8名、欠席2名、監事1名

③ 令和5年度みなし理事会 令和6年2月21日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 評議員会招集について

出席等 提案書に対し、理事10名全員の書面による同意の意思表示及び監事1名
全員から書面により意義がないことの意味表示を得た日をもって、理事
会の決議があったものとみなされた。

④ 令和5年度第2回通常理事会 令和6年3月14日

開催場所 ホテル日航福岡 4階 ローブルーム

決議事項 令和6年度事業計画及び収支予算について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況

出席等 決議に必要な出席理事の数6名、出席8名、欠席2名、監事1名

2. 評議員、役員名簿（令和6年3月31日現在）

（1）評議員

（敬称略、順不同）

役職名	氏名	現職
評議員 （会長）	大津 学	鹿児島県倉庫協会会長 （株）大津倉庫 代表取締役社長
評議員	安藤 寿英	三池港物流（株） 代表取締役社長
評議員	今給黎 督	西部ガステクノソリューション（株） 代表取締役社長
評議員	村木 昭一郎	野母商船（株） 代表取締役社長 （長崎旅客船協会会長）
評議員	小笠原 朗	阪九フェリー（株） 代表取締役社長
評議員	今泉 清美	佐賀地区港運協会会長 （株）奈雅井 代表取締役社長
評議員	山下 幹夫	佐賀県倉庫協会副会長 （鳥栖倉庫（株） 代表取締役社長）
評議員	小金丸 滋勝	九州冷蔵倉庫協議会会長 （芳雄製氷冷蔵（株） 代表取締役社長）
評議員	森 永 洋	（一財）日本モーターボート競走会 常務理事 九州地区担当
評議員	田中 清二	（一財）関門海技協会 理事

評議員 10名 （定数：7名以上13名以内）

(2) 役員

(敬称略、順不同)

役職名	氏名	現職
代表理事 (会長)	青柳 俊彦	九州旅客鉄道(株) 代表取締役会長
理事 (副会長)	城野 隆行	九州地方倉庫業連合会会長 (株)キョーワ 代表取締役社長
理事 (理事長)	竹永 健二郎	九州旅客船協会連合会会長 (九州郵船(株) 代表取締役社長)
理事	坂田 道治	日本通運(株) 執行役員、 九州ブロック地域総括兼福岡支店長
理事	伊東 純一	(株)ジェネック 代表取締役社長
理事	大西 英二郎	九州地方港運協会副会長 (鹿児島海陸運送(株) 代表取締役社長)
理事	宗田 銀也	九州地方海運組合連合会会長 (旭海運(有) 代表取締役社長)
理事	大黒 伊勢夫	(一財)国際観光ビジネス協会 理事
理事 (専務理事)	中原 禎弘	(公財)九州運輸振興センター

監事	西 正博	九州トラック協会 専務理事
----	------	---------------

理事 9名 (定数：7名以上13名以内)

監事 1名 (定数：2名以内)

附属明細書について

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。